

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 3 月 27 日作成)

小委員会名	津波荷重小委員会		主 査 名：奥田泰雄 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：高田毅士
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>荷重指針、設計資料の策定およびそのフォローアップに加えて、津波荷重に関する研究を促進し、次期改定に研究成果を反映させるため津波荷重小委員会を 2014 年 4 月に設置した。</p> <p>初年度：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 津波荷重指針策定で確認された研究課題の整理を行い、次期改定に向けた研究ロードマップを検討する。</li> <li>2) 「建築物荷重指針を活かす設計資料 1」に加えるべき内容を検討し、原稿作成を開始する。</li> </ol> <p>2 年度：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 荷重指針講習会で津波荷重の解説を行い、津波荷重指針に関する質問や要望、意見等を纏める。</li> <li>2) 委員は研究ロードマップに則って、津波荷重改定に必要な研究を開始し、関連する研究事例の収集に努める。</li> </ol> <p>3～4 年度：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 委員は研究ロードマップに則って、津波荷重改定に必要な研究を開始し、関連する研究事例の収集に努める。</li> </ol>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：奥田泰雄 (国土技術政策総合研究所) 幹事：石原 直 (建築研究所)・長谷部雅伸 (清水建設) 委員：浅井竜也 (東京大学)、有川太郎 (中央大学)、糸井達哉 (東京大学)、壁谷澤寿一 (国土技術政策総合研究所)、阪田 升 (環境シミュレーション)、庄司 学 (筑波大学)、館野公一 (鹿島建設)、寺崎 浩 (大成建設)、中埜良昭 (東京大学)、西嶋一欽 (京都大学)、濱本卓司 (東京都市大学)、松富英夫 (秋田大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	津波荷重シミュレーション WG：数値シミュレーションガイド等を上記の建築物荷重指針関連資料に加えることを目的として、津波荷重小委員会下に本 WG を設置する。		
2016 年度予算	290,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 10 年後の改訂に向けて実施すべき研究課題についてはある程度纏め、各研究課題に担当者を振り分けた。2016 年度は、建築物荷重指針ならびに設計の英文化の準備を行った。
委員会活動の問題点・課題	1. 各会議室に延長コードを数本以上用意してほしい。 2. もっと余裕のあるサーバーに変更してほしい。